

## ■用語解説 (50音順)

- ・ 基本計画の用語解説についてはページを記載していませんので、後期基本計画（素案）の資料中の「\*」のついている用語を下記の索引から検索しご確認ください。
- ・ 下記のページ欄に番号のみ記載している資料は「資料2」および「資料3」になります。

索引	語句		頁
A	A I	Artificial Intelligence の略。人工知能のこと。	23 (基)5 (基)14 第7章15 第7章28 第7章40
D	DMO	Destination Marketing/Management Organization の略。観光地域づくり法人。「観光地経営」の視点に立ち、「観光地域づくりの舵取り役」を担う法人のこと。	第7章29
	D V (ドメスティック・バイオレンス)	夫婦や恋人など親密な間柄にある、またはあった者から加えられる身体的、精神的・性的な暴力のこと。殴る、蹴るといった物理的な暴力だけでなく、脅し、ののしり、無視、行動の制限・強制、苦痛を与えることなども含まれる概念。	(基)2 (基)3
E	eスポーツ	「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称とされている。	第7章45
G	G D P	Gross Domestic Product の略。国民総生産（GNP）から海外で得た純所得を差し引いたもので、国内の経済活動の水準を表す指標。	22
I	I C T	Information and Communication Technology の略。情報通信技術のこと。	23 24 52 (基)16 (基)17 (基)29 第7章15 第7章16 第7章19 第7章22 第7章44
	I o T	Internet of Things の略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをす	23 第7章15

		ることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出す。	
N	NPO	Nonprofit Organizationの略。非営利団体一般のことを指す場合と、特定非営利活動促進法により法人格を得た特定非営利活動法人のみを指す場合がある。	24 50 (基)23 (基)34
P	PDCAサイクル	管理計画を作成(Plan)し、その計画を組織的に実行(Do)し、その結果を内部で点検(Check)し、不都合な点を是正(Action)したうえでさらに元の計画に反映させていくことで、螺旋状に環境の継続的改善を図ろうとすること。	第7章2
S	SNS	Social Networking Service(Site)の略。インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス(サイト)。誰でも参加できるものと、友人からの紹介がないと参加できないものがある。会員は自身のプロフィール、日記、知人・友人関係等を、ネット全体、会員全体、特定のグループ、コミュニティ等を選択の上公開できるほか、SNS上での知人・友人等の日記、投稿等を閲覧したり、コメントしたり、メッセージを送ったりすることができる。プラグイン等の技術により情報共有や交流を促進する機能を提供したり、API公開により連携するアプリケーション開発を可能にしたものもある。	23 (基)1 (基)19 (基)30 第7章27
	Society5.0	サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国がめざすべき未来社会の姿として初めて提唱された。	23 56 第7章4 第7章46
T	TPP (環太平洋パートナーシップ協定)	Trans-Pacific Partnershipの略。モノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、電子商取引、国有企業の規律、環境など、幅広い分野で21世紀型のルールを構築する経済連携協定。	24
V	Vtuber	「You Tube(ユーチューブ)」などの動画配信サイトに動画を投稿して収入を得るユーチューバーの一種で、3DCG(3次元コンピューター・グラフィックス)などで作られ	第7章5 第7章28

		た、アニメの登場人物のような架空のキャラクター(アバター)のこと。アバターを用いて、動画を配信する人を指すこともある。	
6	6次産業化	農林漁業者(1次産業従事者)が原材料供給者としてだけでなく、「地域資源」(農林水産物、バイオマス、自然エネルギーなど)を有効に活用し、加工(2次産業)・流通や販売(3次産業)に取り組む経営の多角化を進め、農山漁村の雇用確保や所得の向上をめざすこと。	(基)15 第7章11 第7章13 第7章16
あ 行	アール・ブリュット	『生(き)の芸術』という意味。文化的な伝統や流行、教育などにとらわれず、つくり手の内面から沸きあがる衝動のままに表現された、純粹で無垢な芸術作品を指す。	(基)22 第7章5 第7章6 第7章11 第7章29
	アプリ(アプリケーション)	アプリケーションの略。OS上で作業の目的に応じて使うソフトウェア。パソコンではワープロ・ソフト、表計算ソフト、ウェブブラウザ、メールソフト、画像編集ソフトなどが、スマートフォンやタブレットではコミュニケーション、動画・音楽視聴、地図・ナビゲーション、電子書籍、ネットショッピング、ゲーム用のアプリなどが代表的。スマートフォンが普及して以降、スマートフォンやタブレット向けに多種多様なアプリが提供され利用が広がるとともに、「アプリケーション」よりも「アプリ」等の略称が一般的となっている。	(基)6 (基)19 第7章5 第7章27 第7章28 第7章46
	イノベーション	新技術の発明や新規のアイデア等から、新しい価値を創造し、社会的変化をもたらす自発的な人・組織・社会での幅広い変革のこと。	(基)18 第7章4
	インクルーシブ教育システム	同じ場でともに学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある児童・生徒に対して、その時点で、教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できる多様で柔軟なしくみ。	(基)29 第7章31 第7章33
	エンパワーメント	湧活と訳される。人びとに夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っているすばらしい、生きる力を湧き出させること。	(基)22
	オープンデータ	政府が統計・行政などのデータを公開すること。	(基)6 第7章17
か 行	カーボンオフセット	日常生活や経済活動において避けることができないCO <sub>2</sub> 等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等に	(基)15 第7章13

		より、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方。	
	クラウドコンピューティング	データサービスやインターネット技術等が、ネットワーク上にあるサーバー群（クラウド（雲））にあり、ユーザーは今までのように自分のコンピュータでデータを加工・保存することなく、「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」利用することができる新しいコンピュータ・ネットワークの利用形態。	第7章 16
	クラウドファンディング	インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達すること。	(基)1 第7章 5 第7章 26
	グローバル	世界的な規模であるさま。国境を越えて、地球全体にかかわるさま。	23 24 43 (基)16 第7章 5 第7章 29
	健康寿命	認知症や寝たきりにならない状態で心身ともに自立し、健康的に生活できる期間のこと。	43 (基)20 第7章 7 第7章 8 第7章 10 第7章 34 第7章 45
	広域連合長を選挙で選ぶ	地方自治法第二百九十一条の五の規定により、一部事務組合と異なり広域連合は連合長を選挙で選ぶことができる。	64
	公園サポーター制度	市が管理する都市公園等において、市民と行政が協力して快適な公園の維持・保全を図るとともに、公園愛護意識の高揚を図ることを目的とした制度。	(基)11
	合計特殊出生率	15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当。	9 20 49 第7章 9
	交流人口	地域外からの旅行者や短期滞在者による等、その地域を訪れる人々のこと。	43 51 53 第7章 10 第7章 23
	国立社会保障・人口問題研究所	厚生労働省本省に設置された研究機関。社会保障・人口問題に関する研究、人口・経済・社会保障の間の関連の研究などを通じて、福祉国家に関する研究と政策とを橋渡しし、研究成果を広く社会に提供し、国民の福祉の向上に寄与することを目的とする。	8 20 48

	コワーキングスペース	各個人が独立して働きながら、相互にアイデアや情報を交換し、オフィス環境を共有することで生まれる相乗効果をめざすコミュニティ・スペース。	第7章 22
さ 行	再生可能エネルギー	一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーの総称。太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス(生物由来の資源)、地熱などがある。自然エネルギーとほぼ同義に用いられる。	21 (基)9
	サテライトオフィス	本社と離れた場所にありながら、ICT(情報通信技術)の活用により本社同様の仕事環境が整えられたオフィス。	第7章 21
	サブカルチャー	ある社会に支配的にみられる文化に対し、その社会の中のある特定の集団だけがもつ独特な文化。	(基)4 第7章 24
	産業別就業人口	就業者を産業別に分類したもの。産業構成を第1次(「農業、林業」「漁業」を合わせたもの)、第2次(「鉱業、採石業、砂利採取業」「建設業」「製造業」を合わせたもの)、第3次(第1次産業と第2次産業および分類不能の産業以外の項目を合わせたもの。)に分ける。そのため、グラフの第1次産業、第2次産業、第3次産業の割合を足しても100%にならない。	14
	自然増減	出生と死亡による人口の増減。	11
	シティプロモーション	資源・歴史・文化伝統などを活かした様々な「都市の魅力」や「都市ブランド」を効果的に市内外に発信する方策のこと。	第7章 6
	社会増減	転入と転出による人口の増減。転入はほかの市町村から湖南市域内に新たに住所を定めること、転出は湖南市域外へ住所を移すこと。	11 第7章 9
	出生中位・死亡中位推計	人口の将来推計を行うにあたり必要な出生率および死亡率の将来については不確定要素が大きいため、幾つかの仮定を設けており、これらをそれぞれ中位推計、高位推計、低位推計と呼ぶ。	20
	循環型社会	廃棄物の発生抑制、循環資源としての再利用、適正処理をすることで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。	21 (基)8
	スーパーシティ	「スーパーシティ」構想のこと。地域の「困った」を最先端のJ-Tech(世界に誇る”日本で展開される技術” Japan Technologyの略)が、世界に先駆けて解決することで、「まるごと未来都市」の実現を、地域と事	56 第7章 8

		業者と国が一体となってめざす取組。	
	ストリーミング	インターネット上で動画や音声などのコンテンツをダウンロードしながら逐次再生すること。	第7章 15 第7章 20
	スマートインター	スマートインターチェンジ（スマートIC）は、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジ。通行可能な車両（料金の支払い方法）を、ETCを搭載した車両に限定している。	第7章 43
	スマート農業	ICT、ロボット技術、データ等を活用して省力・高品質生産を実現する新たな農業。	第7章 16
	ソーラーシェアリング	営農型太陽光発電のことで、農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組。	(基)9 第7章 36
た 行	中核病院	地域の医療連携の中核を担う病院で、複数の診療科や高度な医療機器を備えた病院。	63
	昼夜間人口	昼間人口は、就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地による人口。夜間人口（常住人口）は地域に常住（居住）している人口。	12 第7章 9
	デフレマインド	デフレ時代に染みついた企業や消費者の心理や行動様式。実体がどうであれ、今後も経済状況があまりよくないであろうと悲観的になる心理状態のこと。将来を不安に思い、節約や貯蓄をしてお金をあまり使わないようにしようと考えること。	24
	デマンド型乗合タクシー	利用者のニーズに応じて、地域のタクシー会社などを乗合で利用すること。	第7章 43
	テレワーク	ICT（情報通信技術）を活用した、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方。	(基)17 (基)34 第7章 19 第7章 21 第7章 22
	トレイルラン	陸上競技の中長距離走の一種で、舗装路以外の山野を走るものをさす。	第7章 29
	ドローン	航空の用に供することができる飛行機、回転翼航空機、滑空機、飛行船そのた政令で定める機器であって構造上人が乗ることができないもののうち、遠隔操作又は自動操縦（中着）により、飛行させることができるもの。	第7章 46

な 行	年齢3区分別人口	年齢別人口のうち、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）をいう。	10
	ノーマライゼーション	障がいのある人や高齢者など社会的に不利を負いやすい人々を当然に包括するのが通常の社会であり、そのあるがままの姿で同等の権利を享受できるようにするという考え方。障がいのある人もない人も社会の構成員として、地域の中で普通に暮らすことが当然とする考え方。	(基)22 (基)25
は 行	パブリシティ	企業や商品、サービスなどに関する事柄が、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどのマスコミ媒体に、記事やニュースとして報道もしくは紹介されること。	(基)1
	ビジネスマッチング	商品やサービス、技術力、人材などを必要としている事業者に対し、それを提供する事業者を紹介すること。	第7章 22
	ビッグデータ	利用者が急激に拡大しているソーシャルメディア内のテキストデータ、携帯電話・スマートフォンに組み込まれたGPS（全地球測位システム）から発生する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータなど、ボリュームが膨大であるとともに、構造が複雑化することで、従来の技術では管理や処理が困難なデータ群。	23 第7章 15 第7章 16
	普通出生率	人口千人あたりの一定の時間内（通年1年）における出生数を人口で割ったもの。	9
	ブランディング	差別化により付加価値を高め、信頼や満足感などに基づく送り手と受け手とのつながりを築く活動。	第7章 16 第7章 18 第7章 28
	フレックスタイム制	労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自らが決めることによって、生活と業務との調和を図りながら効率的に働くことができる制度。	第7章 21
	ヘイトスピーチ	特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとしたりするなどの一方的な内容の言動。	22
ま 行	モータリゼーション	自家用車をはじめ自動車の普及した社会のこと。	63
	モビリティ・マネジメント	「一人一人のモビリティ（移動）が、個人的にも社会的にも望ましい方向（すなわち、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向）へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通政策。	(基)14 第7章 40

や 行	ユニバーサルデザイン	年齢、性別、身体、国籍など人々が持つ様々な特性のちがいを越えて、始めからできるだけすべての人が利用しやすいように配慮して、施設、建物、製品、環境、行事等をデザイン（計画・実施）していこうとする考え方。	(基)12 (基)13 (基)14 (基)25 (基)32 第7章 39 第7章 41 第7章 42
ら 行	リカレント教育	学校を卒業し、社会人になった後、必要に応じてあらためて大学等で学び直すこと。	第7章 16 第7章 20
	ローリング方式	毎年度修正や補完など、計画の見直しを行うことにより、計画と現実とが大きくずれることを防ぐシステム。	2